

害虫相談委員会報告

理事・害虫相談委員長 藤田 洋三

2年12月3日(木)にルノアール四谷店会議室にて害虫相談委員会を行った。

出席者

藤田 洋三(害虫相談委員長)
大山 克幸(害虫相談副委員長)
勝屋 達行(株三共消毒)
松井 尚好(エコア株式会社)
村上 隆将(株奥田建物管理) (代理)
奥村 龍一(専務理事)

欠席者

武藤 敦彦(顧問理事)
田中 勇史
(株テオリアハウスクリニック)

◎令和2年度の害虫相談の総括

相談件数は、前年度より増加している。クレームの内容で多いのは、電話対応に関してのクレームが多い。くれぐれも電話対応は各相談所が親切・丁寧にする必要がある。

◎来年度のシンポジウムについて

- ・コロナ禍で、来年度開催は難しいのはいか。(藤田)
- ・やる、やらないに関わらず進めた方がよい。(大山)
- ・各社1名出席にして、相談所を3ブロックに分けて1回20名程度で開催する手はある。

(ア)シンポジウムの内容について

- ・テーマを決めて、研修会形式にして質疑応答や施工事例等の討論会にしては。

- ・開催する時期によるのでは。(勝屋)
- ・研修会で出来ていない項目で決めるのは。(松井)
- ・12月開催している研修会のアンケートから評判の良いものを選定しては。
- ・委員長から事例報告を打診してもらうのは。(松井)
- ・成功例・失敗例の事例報告を募集し発表してもらうのは。(大山)
- ・ペナルティが課せられるかも等の誤解を招く恐れがある為、募集には配慮が必要だと思う。(勝屋)
- ・各社、相見積の結果が気になっているのでは。
- ・見積り結果は事務局で閲覧できるのでは。(藤田)
- ・事務局では、成約した会社の金額はわかる。(奥村)

(イ)結論

- ・実施する方向で内容について更に議論する。
- ・成功例・失敗例の事例を募集するとともに、参加希望を募る。

◎ペナルティ緩和について

- ・現状のペナルティはきつい。緩和すべきだ。(総意)
- ・ペナルティについては、いろいろな意見があり、次回、害虫相談委員会で協議することとなった。